

平成29年12月

## 新規受託項目のお知らせ

謹啓 時下益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。  
平素は格別のお引き立てを賜り厚くお礼申し上げます。  
この度、新規項目を登録いたしましたので、ご案内いたします。

弊社におきましてはご要望に幅広くお応えすべく研鑽を重ねてまいりますので今後共引き続きお引き立ての程お願い申し上げます。

敬白

\*\*\*\*\* 記 \*\*\*\*\*

### ■新規受託項目

項目コードNo.	58380
検査項目名	歯周病唾液検査
検体量	唾液（唾液量は採取キット参照）
容器	専用容器
保存方法	凍結
検査方法	唾液中ヘモグロビン : LA法（ラテックス凝集比濁法） 唾液中LD : JSCC標準比対応法
基準範囲	唾液中ヘモグロビン : 1.70 $\mu\text{g}/\text{mL}$ 未満 唾液中LD : 271 U/L 未満
検査実施料	未収載 *
所要日数	5～6日
備考	必ず専用容器（唾液採取キット）を用いて採取し、ご提出ください。 検体の採取方法につきましては、唾液採取キット中の説明書をよくお読み下さい。

### ■専用報告書開始期日

平成30年1月4日（木）受付分より

17-1227

## ●歯周病唾液検査

歯周病は口腔細菌による感染症ですが、口腔内に限られた疾患ではなく、体内の様々な疾患に深くかかわっているということが明らかになってきています。

しかし、従来のプローブによる検査は歯科医師の経験や勘によって診断されるところが大きく、また、被検者の負担もあり、集団検診に不向きであるという課題がありました。近年、唾液を検体とする歯周病の検査および評価の方法が確立したことにより、歯周病のリスクを判定する検査受託を開始することとなりました。

この検査は、唾液中のHb（ヘモグロビン）やLD（乳酸脱水素酵素）の濃度を測定することにより歯周病のスクリーニングが可能となっています。

「歯周病唾液検査」専用報告書を下図の通りご提供させていただきます。当該報告書は、歯周病のリスクを低・中・高として、その結果と測定対象検査のHb検査とLD検査の結果をご報告致します。裏面には、受診者に対して、「歯周病唾液検査」の【判定フロー】と【報告値の見方】を掲載しています。

専用報告書（表面）

**FML**
**歯周病唾液検査**

(コード) (89900002)  
 実施施設 システム課テスト専用医療機関  
 バーコードNo. 8991201002

受診者名	テストカンジャ2 様	採取日	2017年 12月 11日
患者ID	1002	年齢	52才
性別	女性	受付日	2017年 12月 12日
科名		報告日	2017年 12月 12日

**● 歯周病リスク ●**

あなたの歯周病リスク

低リスク

低～中リスク

中～高リスク

★ 高リスク

コメント  
 歯周病がかなり進行している可能性があります。  
 歯科医院を受診して適切な処置を受けることを推奨します。

**● Hb(ヘモグロビン) / LD(乳酸脱水素酵素)の判定結果 ●**

検査項目	判定	測定値	検査項目	判定	測定値
唾液中Hb	(+)	1.70 <small>μg/ml</small>	唾液中LD	(+)	271 <small>U/L</small>
基準値		1.70 <small>μg/ml</small> 未満	基準値		271 U/L未満

歯周病は、細菌の感染によって引き起こされる炎症性疾患で、進行すると最終的に歯を失ってしまいます。25才以上のおよそ8割で歯周組織に何らかの症状が認められると言われており、生活習慣病の一つとされています。

検査施設 **FML**
検査責任者

専用報告書（裏面）

**あなたの「歯周病リスク」を、  
唾液で簡単にチェックできる検査です。**

Hb  
(ヘモグロビン)

→ 歯肉の出血

LD  
(乳酸脱水素酵素)

→ 歯肉の炎症

唾液中のHbやLDを測定すれば、歯周病のスクリーニング検査が可能であり、リスク判定が行えます。この検査は患者の唾液を測定するだけの簡単な検査なのです！

**検査判定フロー**

		唾液中LD検査	
		陰性(-)	陽性(+)
唾液中Hb検査	陰性(-)	<p><b>低リスク</b></p> <p>現在の歯周病リスクは低いですが、定期的に検査を受けましょう。</p>	<p><b>低～中リスク</b></p> <p>歯周病のリスクがあります。歯科医師の診断を受けることを推奨します。</p>
	陽性(+)	<p><b>中～高リスク</b></p> <p>歯周病のリスクが高いです。なるべく早く歯科医院を受診して精密な検査を受けることを推奨します。</p>	<p><b>高リスク</b></p> <p>歯周病がかなり進行している可能性があります。歯科医院を受診して適切な処置を受けることを推奨します。</p>

「低～中リスク」以上の場合、歯科医院を受診して歯科医師の診断を受けることを推奨します。低リスクの場合でも定期的に検査を受けましょう。

**唾液中Hb検査**

Hb（ヘモグロビン）は血液中の赤血球に含まれるタンパク質です。唾液中のヘモグロビン濃度を測定することで、歯周病の進行に伴う歯肉からの出血具合を調べることができます。

**唾液中LD検査**

LD（乳酸脱水素酵素）は体内の細胞が損傷を受けた際に血液中に放出される酵素です。唾液中のLD濃度が高ければ、歯肉炎の進行により細胞が損傷を受けていることが疑われます。